

司会	①二見兄	②新田兄	③小嶋兄
奏楽			
祈祷	①水間兄	②右沢兄	
賛美	聖歌602番	(621番)	(主イエスをほめよ)
十戒			
聖書	① ルカによる福音書19章1～10節	②③ ヨハネによる福音書14章12～18節	
音楽	① 坪井永城師	②③ アサリオン	
メッセージ	① 「大和カルバリーチャペルになる」 倉知契副牧師	②③ 「長生きすりゃいいってもんじゃない」 大川従道牧師	
賛美	「主の愛のながうちに」(578・献金)		
頌栄	「わが魂いざたたえよ」アーメン		
祝 禱			

『別に助け主』(ヨハネ十四の十六)  
 (慰め主、助言者、助け主、とりなす者、弁護者、激励者、援助者)

【大和ニュース】

- ・ 受洗おめでとうございます。①重城敏子姉(ドルカス会)
- ・ 本日、入門講座Ⅱ、ルツ会、SS主任会、YYタイム(12時半・森)、J. PLUS等あり。
- ・ 今週も祈祷会を大切に！水曜夜と木曜朝。説教は坪井副牧師。
- ・ 福音礼拝は、火曜昼2時半から。説教は大塚伝道師。
- ・ 準備祈祷会は、金曜夜9時～10時半。説教は大野メディア主事。
- ・ 週末礼拝は、土曜夜6時～6時59分。説教は倉知副牧師。
- ・ 土曜スクールは、9時30分、森チャペル。子供の特集です。

※ご結婚おめでとうございます。熊谷壽洋様と鹿島有可様。土曜15:00。当チャペルにて。

石の枕

サッカーのワールドカップ(W杯)が始まった。あのアパルトヘイト(人種隔離)政策の国に世界中の目が集まる。

91歳のマンデラ氏も出て来られるようだ。彼は27年間もの獄中生活の中でイエス様の十字架の恵みを体験し、出獄後、「主の赦し」をかかげて、黒人初の大統領になったことは、大川牧師の説教中、度々耳にした。

クリント・イーストウッド監督の映画「インビクタス・負けざる者たち」はそれらのことを描いた名作だ。是非観たいものである。

A新聞の社説は面白い。サッカーはこの国の現代史と縁が深い。アパルトヘイト政策下の時代、ケープタウンの沖合にあるロベン島刑務所で、政治囚らが自分たちのサッカーリーグを立ち上げた。看守から絶え間ない暴力を受けながらも、囚人たちは刑務所側と数年がかりで交渉し実現にこぎ着けた。なんとズマ大統領は主将の一人だった。

マンデラ氏は隔離棟にいて試合に参加できなかったそうであるが、今回は、「南アはアフリカのホスト国として開催の名誉を受けた」と、W杯をアフリカ大陸全体の大会として位置づける。アフリカは変わりつつある。

アパルトヘイトのあったあの国で、世界の人々がスポーツを楽しむ。大変うれしいことである。世界の平和と宣教を祈るものとして、大成功を夢見たい！

次は「天声人語」から。近ごろの日本人の「過剰な無菌志向」を案じて言う。「子供がたまに発熱したり下痢したりするのは、バイキンとの戦い方を習得しているからだ。成長の時期にここで戦い方を学習しないと、雑菌に対する抵抗力が弱くなり、逆にアレルギーを起こしやすい体質になる」

たとえば、子どもの遊ぶ砂場も、砂には抗菌加工をし、抗菌用の備長炭を敷いたのが、人気だという。そのうち犬や猫にも触れなくなってしまうかも。五感を働かせてのびのび遊ぶ経験は将来、親が思う以上に生きる力を生むそうだ。過保護で芽を摘むことなかれ。

教会や牧師に過剰な期待をして、すぐつまずいたり、傷を受けたりするのは困ったものだ。恵まれた群だからこそ、バイキンマンも存在し、クリスチャンを訓練し、み言葉に根をおろした強いキンクマンになれる。

すべてのマイナスはプラスになる。ヘブル書12の1～5。

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！

Aコース:ヨハネ20章～使徒行伝4章 Bコース:エズラ記3章～ネヘミヤ記11章